



ニッサン Y34 セドリック グロリア

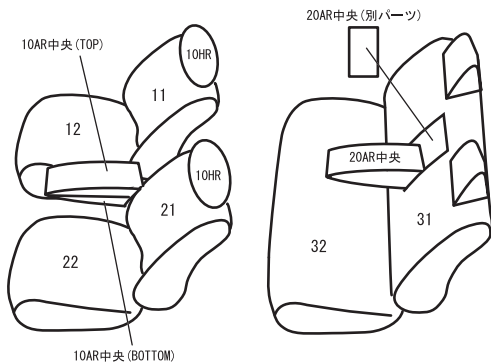
専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

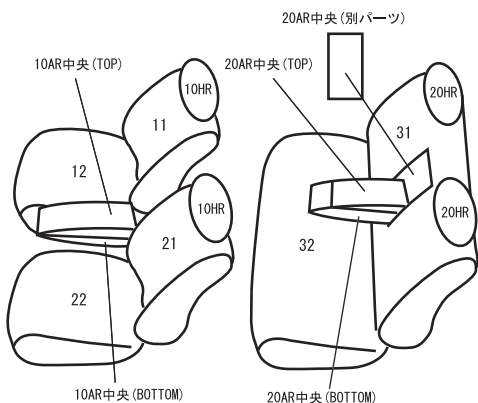
- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

0528/0529

本製品シート形状とパーツの名称

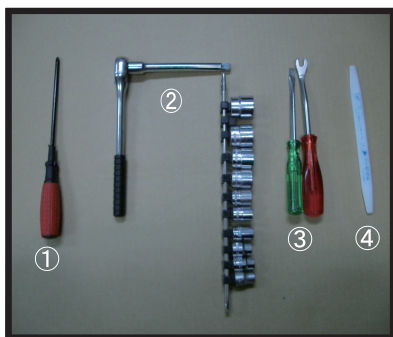


2列目背もたれ
ヘッドレスト一体型



2列目背もたれ
ヘッドレスト分離型

取付必要工具



工具名

- ① ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ ドライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ

*この車種では、①と②の工具
を使用します。

*この車種では、③の工具は使
用しません。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

助手席パワーシート車

※パワーシートのスイッチ部には加工が必要です



①カバーをきちんと取り付けました状態にします。パワーシートのスイッチ部を手で触りながら角部分から内側に7mmの位置に目印を付けます。



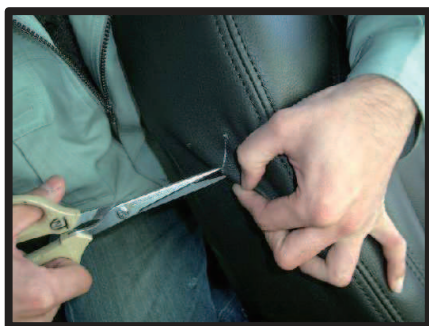
④最初に×印に切り込みを入れ、次に×印の端同士を結ぶように生地を切り落とし、四角形の穴にします。



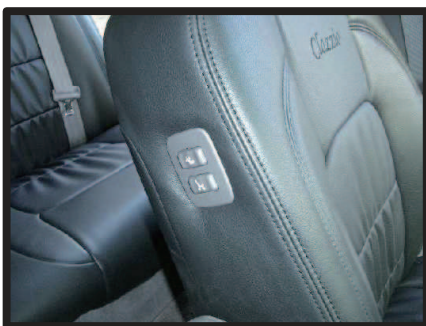
②次に、目印を対角線で結ぶように×印を描きます。



⑤シート本体とスイッチのプラスチックとの隙間に、切り抜いたカバーを入れ込みます。

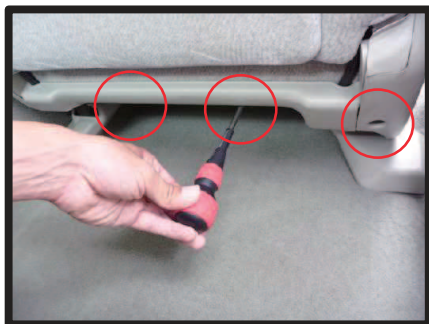


③シート本体やスイッチを傷つけないように、カバーをつまみながらハサミ等を使用して切り込みを入れます。



⑥助手席パワーシートのスイッチ部はこのようになります。

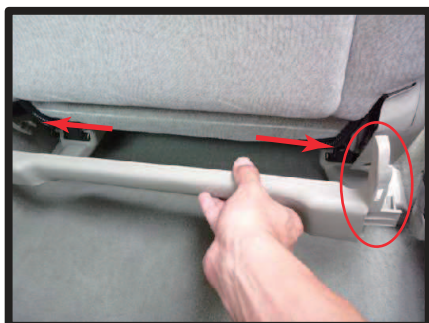
1 列目座面



①始めに座面後ろ側のプラスチックカバーをプラスドライバーを使って外します。



④背もたれと座面の間に生地を入れ込みます。



②シート側のプラスチックカバーを外側に開き、ツメを外します。
カバーを外す際は、カバー両端のツメを折らないよう、慎重に作業を行って下さい。



⑤入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



③座面カバーをシートのラインに合わせてかぶせます。



⑥シート本体とプラスチックカバーの間に生地を入れ込みます。
側面のヒモはプラスチックカバーの下を通し、後ろに引き出します。



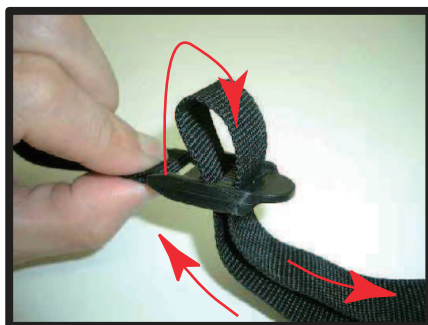
- ⑦⑤で引き出した生地裏側には、ループ状のベルトが付いています。
⑥で引き出したヒモを、図のようにループに通します。(左右2ヶ所)



- ⑩引き出したベルトをカバー背面のバックルに通し固定します。



- ⑧左右のループに通したヒモを固定します。片側のヒモで輪を作り、反対側のヒモを通して絞り込んでから結びます。



- ⑪ベルトを図のように真中の穴に通してから、右端の穴に通します。ベルトを引いて固定します。強く引き過ぎるとベルトが切れる場合がありますので、ご注意ください。



- ⑨カバー前側に付いているベルトをシート下を通し、後ろに引き出します。
※シート下の金属部に干渉しないよう、ベルトを引き出して下さい。



- ⑫カバーのラインを整えます。①で外したプラスチックカバーを元に戻して、1列目座面の完成です。助手席側は一部形状が異なりますが同様に取り付けます。

1 列目背もたれ



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



①ヘッドレストを外し、背もたれカバーを半分ほど裏返してシートにかぶせます。



④背もたれ前面の生地を背もたれと座面の間に入れ込みます。



②ヘッドレストの台座とカバーの穴位置を合わせ、肩口までしっかりかぶせます。
折り返していたカバーを左右均等に下まで引き下げます。



⑤矢印の①～③の順にカバーをシートに馴染ませ、形を整えます。



③ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地伸びを利用して横からもぐり込ますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



⑥④で入れ込んだ生地を背もたれ後ろ側から引き出します。

2列目座面



⑦引き出した生地と背もたれ背面の生地をマジックテープで固定します。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



⑧カバーのラインを整えます。1列目背もたれの完成です。
サイドエアバッグ装備車は、サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
助手席側は一部形状が異なりますが同様に取付けます。



①矢印の位置（座面の前側シート裏）に、車体とシートを固定しているフックがあります。



②フックは、図のように固定金具の輪を手前に引く事でロックが外れるので、ロックを外しながらシートを持ち上げ、フックを外します。

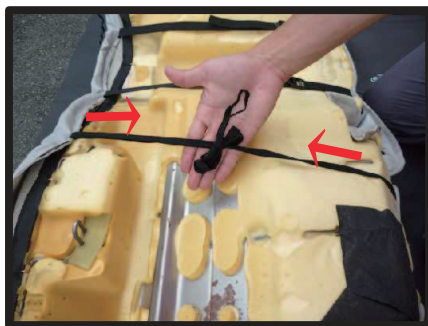


③フックを外し、座面の前側を引き上げ、シートを取り外します。
シートを外す際に車体を傷付けないよう、慎重に作業を行って下さい。

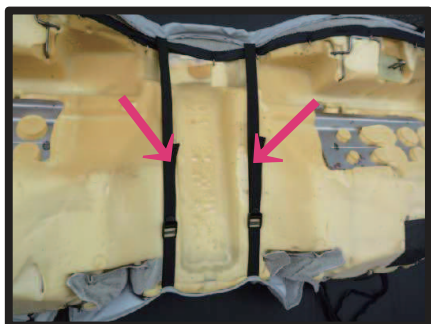
2列目座面続き



④シートラインからずれないように座面カバーをかぶせます。



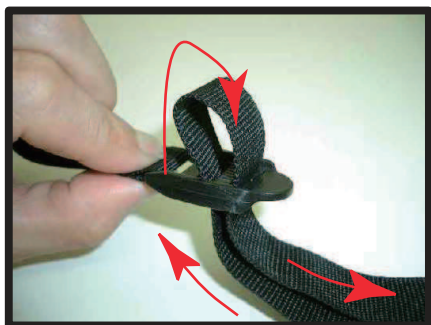
⑦カバー前後に付いているゴムを、付属のS字フックで固定します。ゴムの長さが余る場合は、ゴム同士を結んで固定します。



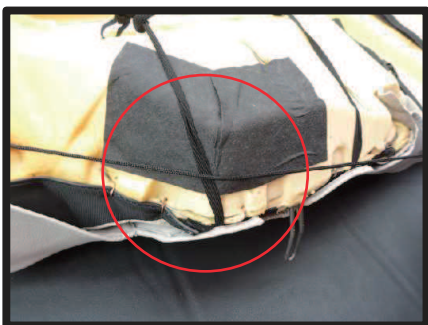
⑤座面を裏返しカバーの前後に付いているベルトで固定します。



⑧カバーの側面後ろ側に付いているヒモを座面後ろ側で固定します。



⑥ベルトを図のように真中の穴に通してから、右端の穴に通します。ベルトを引いて固定します。強く引き過ぎるとベルトが切れる場合がありますので、ご注意ください。



⑨ヒモを固定する際は、図のように座面の角にヒモを引っかけて下さい。

2列目背もたれ

※背もたれヘッドレスト一体型



- ⑩カバーのラインを整えます。2列目座面の完成です。
座面を車体に戻すのは、背もたれを完成させた後に行います。



- ①アームレスト裏側のパネルを取り外します。
アームレストを引き出し、背もたれの奥にあるパネルを上側から手前に引き出します。



- ②アームレストとパネルはフック状のパーツで付いています。
パーツを外してパネルを取り外します。



- ③パネルを外したところに、ナットがあります。
ラチェット等を使用し取り外します。

2列目背もたれ続き

※背もたれヘッドレスト一体型



④背もたれ下側にボルトがあります。
ラチェット等を使用し取り外します。
(左右2ヶ所)



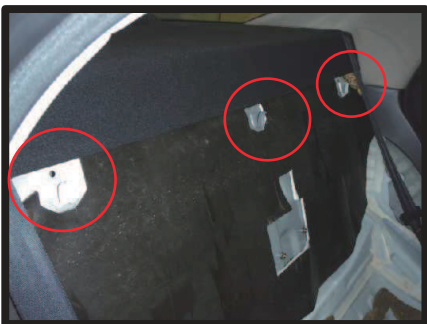
⑦背もたれのラインに合わせてカバーをかぶせます。



⑤背もたれを外します。
上にずらすようにして、持ち上げます。
車体に傷を付けないよう、慎重に作業を行ってください。



⑧背もたれ下側の金属部分をカバーの切れ目から取り出します。



⑥図の丸印のフックに背もたれ背面の金属バーが引っかかっています。



⑨背もたれを裏返して、カバーの上下左右に付いているベルトで固定します。



⑩背もたれ中央上側に付いているゴム同士の結んで固定します。



⑬アームレスト下側のマジックテープ同士を取り付けて固定します。



⑪アームレストにカバーをかぶせます。カバーの前後は図の丸印内の生地が背もたれ側にくるように取り付けます。



⑭背もたれを車体に戻します。外した時と逆の手順で取り付けます。⑥のフック3カ所に金属バーをかけます。



⑫アームレストの表側に出ている生地を、アームレストとカバーの間に入れ込んで下さい。



⑮アームレスト裏側のパネルのカバーをかぶせます。マジックテープが付いているほうが前側です。

2列目背もたれ続き

※背もたれヘッドレスト一体型



⑩パネルを背もたれに戻します。



⑪アームレスト下側の生地とパネル下側の生地をマジックテープで固定します。



⑫2列目背もたれ（ヘッドレスト一体型）の完成です。

2列目背もたれ

※背もたれヘッドレスト分離型



⑬アームレスト裏側のパネルを取り外します。
アームレストを引き出し、背もたれの奥にあるパネルを下側から手前に引き出します。



⑭パネルを外したところに、ナットがあります。
ラチェット等を使用し取り外します。



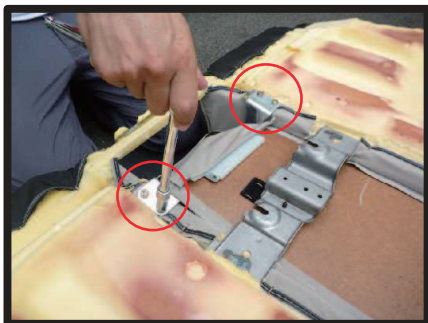
⑮背もたれ下側にボルトがあります。
ラチェット等を使用し取り外します。
（左右2ヶ所）



- ④背もたれを外します。
上にずらすようにして、持ち上げます。
車体に傷を付けないよう、慎重に作業を行って下さい。



- ⑦背もたれのラインに合わせてカバーをかぶせます。
1列目と同様に、ヘッドレストの台座を取り出します。



- ⑤取り外した背もたれを裏返し、アームレストの付け根にあるボルトを、ラチェット等で取り外し、アームレストを背もたれ前側から引き抜くようにして取り外します。



- ⑧背もたれを裏返し、カバーの上下左右に付いているベルトで固定します。



- ⑥背もたれにカバーをかぶせます。
背もたれ下側の金属部分をカバーの切れ目から取り出します。



- ⑨カバーのラインを整えます。
アームレストにカバーを装着し、取り外した逆の手順で元に戻します。

2列目アームレスト

※2列目背もたれヘッドレスト分離型用



- ①10ページの⑤で取り外したアームレストとパネルを取り外します。フック状のパーツを外す事で、パネルが取り外せます。



- ②パネルにカバーをかぶせます。先端の角までしっかりかぶせて下さい。



- ③アームレストの上フタを取り外します。図の赤丸部のネジを、プラスドライバーで外すと、上フタが取り外せます。 — 11 —



- ④アームレストと背もたれを固定する金具を取り外します。金具はボルトで留まっていますのでラチェット等で外し、金具を取り外します。



- ⑤アームレストにカバーをかぶせます。先端部分からラインに合わせて、かぶせていきます。



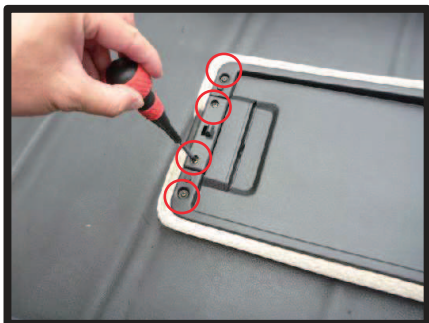
- ⑥アームレストの後ろ側に、図のようにカバーを引っ掛け固定します。



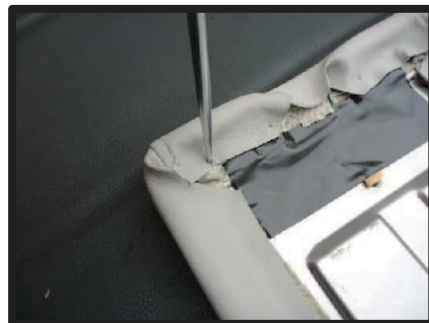
⑦ヘラ等を使用し、アームレストのプラスチック部の隙間に、生地を入れ込みます。



⑩上フタにカバーをかぶせ、内側に生地を巻き込みます。
両面テープを使用すると、作業がしやすくなります。



⑧上フタを裏返し、プラスチック部を取り外します。
赤丸部のネジをプラスドライバーで外します。(4ヶ所)



⑪巻き込んだ生地で、ネジ穴がふさがった箇所は、図のようにネジ穴部の生地穴を開けて下さい。



⑨上フタとアームレスト本体を固定する金具に付いているネジを外します。
図の赤丸部のみ外します。(2ヶ所)



⑫取り外したすべてのパーツを元に戻し、2列目アームレストの完成です。
※①で外したパネルは、背もたれを車体に戻す際に、取り付けます。

2列目背もたれ続き

※2列目背もたれヘッドレスト分離型



- ⑩ パネルとアームレストを外した逆の手順で取り付け、背もたれにパネルをはめ込みます。



- ⑪ アームレスト下側の生地とパネル下側の生地をマジックテープで固定します。



- ⑫ 2列目背もたれ（ヘッドレスト分離型）の完成です。

コンソールボックス



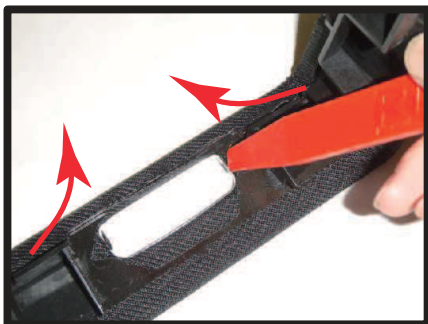
- ① コンソールボックスを開き、下側にあるネジを外し、プラスチックの枠を取り外します。（10ヶ所）



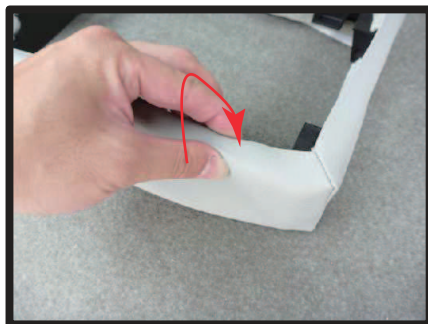
- ② プラスチックの枠を外すと、コンソールと車体を固定する金具がありますので、ネジを外します。（3ヶ所）



- ③ ネジを外す事で、コンソール本体が取り外せます。



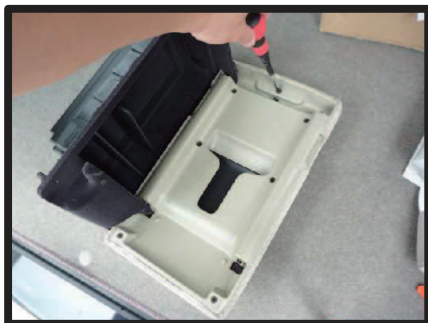
④コンソール本体の下側に、生地の付いた枠がありますので取り外します。取り外した枠に付いている金属パーツを、ヘラ等を使用し裏側からツメを引き起こし取り外します。



⑦かぶせたカバーの上下に余った部分を、枠の内側に巻き込みます。両面テープ等で固定すると作業がしやすくなります。



⑤枠から金属パーツを取り外した状態です。



⑧コンソールボックス上フタを開き、ネジを外します。(7ヶ所)



⑥枠に合わせてカバーをかぶせます。カバーの穴位置と枠の穴位置を合わせ、金属パーツを元に戻します。



⑨上フタの生地の付いたパーツを外した状態です。

コンソールボックス続き



- ⑩上フタにカバーをかぶせます。カバー側面の前側に切り込みがある方向が前側になります。



- ⑪上フタを裏返し、内側に巻き込む生地は両面テープ等で固定します。

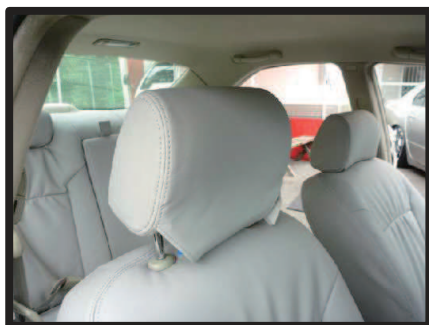


- ⑫上フタを元に戻し、コンソールボックスを取り外した逆の手順で車体に戻し、コンソールボックスの完成です。

ヘッドレスト



- ①ヘッドレストカバーの前後を確認してからかぶせます。平らなプラスチック部品が付いている方が前です。ラインを合わせてからかぶせて下さい。



- ②ヘッドレスト本体に揉み込むようにカバーを入れ込んでいきます。縫い目部分に力がかかりすぎると生地が破れる恐れがありますので、作業は慎重に行なって下さい。

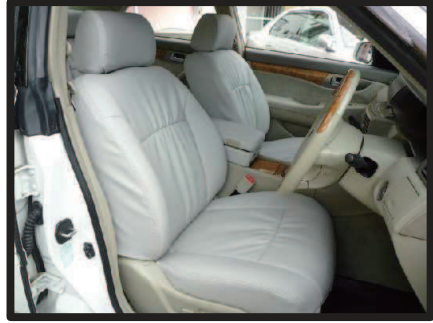


- ③ヘッドレストを背もたれから取り外して、底面のカバーをかぶせます。

完成図



④プラスチックフックを使い、カバーを固定します。



1 列目



⑤平らなプラスチック部側を生地とともにフック部に入れ込みます。プラスチック部のみフックに入れ込んでもしっかり固定されませんのでご注意ください。(写真断面図)



2 列目

背もたれヘッドレスト一体型

※写真はサンプルの為、実際の商品とは異なります。



⑥ヘッドレストを背もたれに取り付け完成です。

※2列目ヘッドレスト分離型の場合も1列目と同様に取付けます。



2 列目

背もたれヘッドレスト分離型

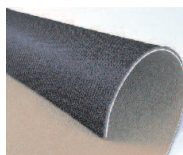


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

